

看護師職能委員会 I 主催「令和 5 年度看護師交流会」

命と向き合う看護を熱く語ろう看護実践者のエネルギー充電！！を開催しました

日 時 : 令和 5 年 9 月 27 日 (水) 9 : 30 ~ 13 : 00

会 場 : ハイブリット開催 (岩手看護研修センター 3 階研修ホール・Zoom)

参加者 : 23 名

コロナ感染症に対峙した 3 年間で人とのかかわりが小さくなり、やりがいを見失ってしまっている看護師も少なくないのではと考え、医療現場での新たな課題に向かうことを可能とするため、看護の実践者にスポットを当て、同じ立場にある看護師同志が日々の思いを語り合う交流会を開催しました。

岩手県立中央病院看護師長であり救急看護認定看護師の佐藤加代子先生に「患者の傍らで自分に誇れる看護をしていますか」と題し、ご講演いただきました。

志が同じで話せる仲間は大切！病院を支えるのは看護師であり良くするも悪くするも看護師次第！自分が思いをもって仲間を作りましょう！痛みの恨みはおそろしいよー！講師からの問いかけの言葉一つひとつが心に刺さり、涙したり、笑ったり五感を揺さぶられる内容でした。また、講演中の設問では看護師になろうと思った自分の原点は何だったのか思い返すことができ、何のために自分はこの職業を選んだのか、今は何のためにこの職場にいるのか、しっかりと思い返すことができ、参加者それぞれが原点回帰できる機会をいただきました。

グループワークでは、自分が行っていることを誇れる！と思うことができました。患者や家族にわかるように伝えるための知識が必要。看護師の思いを押し付けないが、思いをしっかり聴く。患者にとっての最善を選んでいくことができるよう、明日からの自分の看護を考えたい。という力強い言葉がどのグループからも報告されました。

今回の交流会で心に残った言葉はたくさんありましたが、ベストフレーズは『**進化し続ける看護観**』でした。こんな短い時間でこんなにも深い講演内容はあまり経験のないものでした。この会でハートに**エネルギー**をしっかりと**充電**し、ご参加いただいた皆様が白衣の天使として再び医療現場に戻られ、ご活躍されることを祈念し交流会報告といたします。

(看護師職能委員長 I 千葉真理子)

